

# 令和3年度茨城県小中学校長研究協議会報告（取手市 中学校）

## 1 行政との連携や働きかけ

### （1）今年度効果があったもの

- ・留守番電話の設置により、放課後の業務を効率よく処理できるようになった。また、退勤が早くなった。
- ・シルバー人材の導入により、放課後の消毒作業の負担がなくなった。
- ・学校サポーターの配置により、授業の準備、片付けの負担が減った。また、小テスト等の採点をしていただくことで、負担軽減につながった。
- ・生徒の給食費を保健給食課で処理していただき、事務負担の軽減ができた。
- ・地方創生交付金でコロナ対応をしていただき、遠足、修学旅行等のバス代の支払いが円滑に行えた。

### （2）次年度取り組みたいもの

- ・教職員の配置において未補充をなくしてほしい。
- ・部活動指導員の配置をお願いしたい。

## 2 自校の取組

### （1）今年度効果があったもの

- ・日課表の見直しにより、下校時刻を繰り上げることができた。
- ・リモートにより集会活動等実施できた。

### （2）次年度取り組みたいもの

- ・部活動の複数顧問による単独指導  
(教職員数により複数顧問の配置ができない場合は部活動指導員の配置をお願いしたい。)
- ・総合的な学習の時間の校外における探究的な学習の位置付け明確にして、5時間授業を10日以上設定したい。今年度は、授業時数の確保の観点から10日以上の5時間授業の実現が難しい。

## 3 協議会で次年度に取り組みたいテーマ

- ・土日、祝日に部活動を指導した場合は、教員特殊業務手当をもらっているため、時間外勤務としてカウントしない。時間外勤務と教員特殊業務を明確に区別してほしい。